

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 343 号	氏名	恒任 章
学位審査委員	主 査	中尾 一彦	
	副 査	大園 恵幸	
	副 査	蒔田 直昌	
論文審査の結果の要旨			
1. 研究目的の評価 本研究は、長崎原爆被爆者における非アルコール性脂肪肝の新規発生率およびその予測因子について長期縦断的に検討したものであり目的は十分に妥当である。			
2. 研究手法に関する評価 脂肪肝の無かった長崎原爆被爆者 1,635 名（平均年齢 63.1 歳）を対象に 2 年毎に健康調査を行い長期に渡り（平均観察期間 11.6 年）脂肪肝の発生を追跡したもので研究手法も妥当である。			
3. 解析・考察の評価 新たに脂肪肝と診断されたのは 1,635 人中 323 人で、発生率は 19.9/1000 人年であった。多変量解析の結果、エントリー時の肥満、高中性脂肪血症、高血圧が脂肪肝発生の有意な予測因子であった。縦断的検討では脂肪肝発生時には body-mass index (BMI) と中性脂肪がエントリー時に比べ有意に増加していることが明らかとなった。よって、肥満と中性脂肪高値は脂肪肝の発生に関与していることが示唆された。			
以上のように、本論文は非アルコール性脂肪肝発生の危険因子解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。			